

# 山ノ内町商工会 景況調査結果(平成30年度)

調査対象期間:平成30年4月～6月

調査概要	業種	製造	2	建設	2	卸・小売	5	飲食	3	宿泊	15	その他	3	
	業態	個人						8	法人					22
	従業員数等	0人	4	1-2人	15	3-5人	9	6-20人	2	20人超	0			
	後継者の有無等	・後継者有 17 ⇒ (事業承継計画:有 1 無 16) ・後継者無 13 ⇒ (代表者が当面継続 12 廃業予定 1)												

## (1) 売上等の推移について

	前年同期(H29.4-6)と比較して			前期(H30.1-3)と比較して			今期(H30.4-6)と比較した 来期(h30.7-9)の見通し		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
売上	9	8	13	6	1	23	24	4	2
採算(経常利益)	6	9	15	4	9	17	18	11	1
仕入単価	8	22	0	4	25	1	0	30	0
販売(客)単価	4	26	0	4	25	1	1	29	0
資金繰り	3	18	9	3	17	10	8	21	1
景況判断	4	14	12	2	15	13	12	17	1

## (2) 経営上の課題(1事業所につき下記課題から上位3つまで選択)

受注、販売競争の激化	9	製品ニーズ変化への対応	3	需要の停滞	14
店舗、設備等の老朽化	19	原材料、燃料代の上昇	8	人件費の増加	1
販売代金の回収難	1	販売価格への転嫁難	5	従業員の確保	14
取引条件の悪化	0	事業資金の借入難	2	過剰在庫	0
税負担の増加	3	その他	11		

## (3) 景況・課題についてのコメント

<p>【製造業】-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同業者廃業により取引先が急激に増加している。</li> <li>・休日返上で対応しているが需要に追い付かない。慢性的な人手不足。設備投資したいが迷っている。</li> </ul> <p>【建設業】-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継予定者の見当がつかない。</li> <li>・除雪が昨年の半分程で入金も遅いため資金繰りが悪化している。</li> </ul> <p>【卸・小売業】-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪不足により志賀高原への入込みが減少した影響で売上が減少した。</li> <li>・天候不順により野菜の価格が高騰している。</li> <li>・温泉街への外国人観光客が減少している印象。</li> <li>・消費税複数税率対応の多額のレジ購入が必要になり困っている。</li> <li>・原油価格が高騰しているが競合もあり販売価格に転嫁できない。</li> </ul> <p>【飲食業】-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白根山噴火に伴う通行止めにより客数・売上とも減少した。</li> <li>・温泉街への観光客が減少している印象。</li> <li>・天候不順により野菜の価格が高騰している。</li> </ul> <p>【宿泊業】-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白根山噴火に伴う通行止めによりレストラン部門の売上が減少した。</li> <li>・雪がなくGWの売上が昨年に比べ減少した。</li> </ul>
--

- ・慢性的な人手不足。
- ・地域全体に需要の停滞を感じている。今後の事業の方向性が見出せない。
- ・日の並びが悪かったせいか昨年に比べGWの売上が減少した。
- ・志賀高原への外国人観光客が増えている印象。
- ・4-6月期のインバウンドが好調だった。
- ・廃業した旅館を外国人が買う動きがあり動向を注視している。
- ・雪不足だったが外国人客の予約があり持ち直した。夏場の予約が好調である。
- ・仕入単価の上昇分を販売価格に転嫁した。
- ・複数税率対応のレジ対応に迫られている。

【その他】-----

- ・原油価格が高止まりしており利益が減少している。
- ・旅館が大手の会社に交替したことにより取引ができなくなってしまった。
- ・消費税増税前の駆け込み需要で活況。(増税後の反動が心配)
- ・複数税率対応のレジ対応に迫られている。